

主管課	生涯学習課	一般会計					
		款		項		目	
		10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費

事業の主な内容及び成果

【社会教育総務事務費】

○社会教育委員会議の開催

飯能市教育振興基本計画に基づく社会教育の取り組みとして、第2期飯能市教育振興基本計画(案)及び社会教育委員の職務について審議した。

- ・会議の開催回数 : 3回
- ・会 場 : 市役所本庁舎別館・飯能市郷土館

○社会教育指導員の設置

社会教育指導員を置き、主に飯能市人権教育推進協議会事務、人権教育研修会開催事務、飯能市PTA連合会事務を行った。

○文化財保護審議委員会の開催

文化財指定に向けて、調査・審議を行った。

- ・会議の開催回数 : 3回
- ・会 場 : 富士見地区行政センター、総合福祉センター

【市民講座開催事業】

○大学公開講座

大学公開講座は駿河台大学と共催により、春に「市民の大学Ⅰ・Ⅱ」、秋に「市民の大学Ⅲ・Ⅳ」を開催した。参加者のアンケートでは69.8%の方から満足との回答があった。

(参加者は延べ人数)

事業名	対象	内 容	回 数	参加者数
駿河台大学 春の公開講座 市民の大学Ⅰ	一 般	情報の探し方	回 4	人 292
駿河台大学 春の公開講座 市民の大学Ⅱ	一 般	比較文化ア・ラ・カルト	4	286
駿河台大学 秋の公開講座 市民の大学Ⅲ	一 般	地域と教育	4	163
駿河台大学 秋の公開講座 市民の大学Ⅳ	一 般	心理学から見る犯罪	4	224

事業の主な内容及び成果

【人権教育推進事業】

○人権教育研修会

差別や偏見のない明るいまちづくりを目指し、様々な人権問題の解決に進んで寄与できる地域での人材育成のため、原市場及び名栗地区行政センターにて人権教育研修会を開催した。
(参加者は延べ人数)

事業名	対象	内容	回数	参加者数
人権教育研修会	一般	講義・ワークショップ ・人権啓発ビデオ視聴	回 4	人 144

○啓発冊子の発行

人権関係研修会参加者の感想やアンケートのほか、小・中学生の人権作文・標語をまとめて「明るいまちづくりへの提言」として発行し、人権教育に活用いただけるよう地区行政センター等に配置した。

○人権教育推進協議会

広く人権教育推進を行うため、飯能市人権教育推進協議会へ補助金を交付し、支援した。

【青少年健全育成事業】

○青少年問題協議会設置事業

8月に会議を開催し、学校教育課副参事が「飯能市いじめ防止基本方針」の概要について説明を行い、各委員からの質疑応答と意見交換を行った。

○青少年相談員設置事業

飯能市青少年相談員協議会により、地域の子ども会行事のレクリエーション活動に協力したほか、「やまなみキッズクラブ」として主催事業を年2回実施した。

○子ども大学開催事業

駿河台大学、飯能商工会議所との共催により、駿河台大学にて子ども大学はんのうを開校した。市内在住の小学校4・5・6年生を対象に募集し、47人の生徒が応募し、5日間で5講義実施した。学校では学べないことを大学の先生や専門家が分かりやすく教え、他校の児童との交流も行われ、充実した学習活動が行われた。

○青少年健全育成支援事業

青少年育成飯能市民会議と協力し、各種事業を実施した。「少年の主張大会」では、小・中・高校生の意見発表のほか、「家庭の日ポスターコンクール」優秀作品の表彰を行った。また、非行防止キャンペーンや夜間パトロールなどを実施した。

さらに、青少年健全育成関係団体を支援するため、飯能市PTA連合会、飯能市青少年相談員協議会、青少年育成飯能市民会議に対して補助金を交付し、支援した。

事業の主な内容及び成果

【成人式開催事業】

飯能市、飯能市教育委員会、飯能市選挙管理委員会の共催により1月11日(月)成人の日に開催した。当日スタッフとして市民ボランティアによる協力をお願いした。

区分	該当者数	出席者数	出席率
	人	人	%
男	442	336	76.0
女	383	284	74.2
合計	825	620	75.2

【文化活動推進事業】

○生涯学習フェスティバル開催事業

仲間づくりと世代間交流をテーマとして、生涯学習の様々な分野で活動している方々の発表・交流の場と、これから生涯学習を行おうとする市民のきっかけ作りとして「生涯学習フェスティバル」を3月27日(日)に駿河台大学で同校の地域フェスタと同時開催した。体験を含めたステージ発表に12団体、作品展示・活動紹介に7団体、飲食・物販に14団体が参加した。

また、子ども向けワークショップ等を実施し、当日は、約950人の来場があり、生涯学習の活動発表と様々な個人及び団体の交流が図られた。

○文藝飯能刊行事業

市民の文芸創作活動を促すとともに、優れた作品を市民に提供し、市民文化の向上を図ることを目的として「文藝飯能36号」を刊行した。俳句・短歌・川柳・詩・小説・童話・随筆・手紙の各部門を募集し、684点の投稿があった。市民で構成する編集・選考委員会議で掲載内容を検討し、特集記事は「飯能の文人たち」として市内在住の著名人の作品を掲載した。

一般頒布を行うため、3月中旬に生涯学習課及び地区行政センター等の各施設へ配置した。

○文化活動支援事業

市民の文化芸術活動の振興を図ることを目的に、「飯能市文化祭」・「飯能市民美術展」を実施した。

飯能市文化祭は実行委員会を組織し、市民会館・市民活動センター等で開催した。「市民文化のつどい」は、市民文化団体と中学生の吹奏楽によるステージ公演を開催した。

飯能市民美術展は実行委員会を組織し、市民会館地下展示室にて作品の展示を行った。

また、様々な文化団体の連絡調整や文化事業を行う飯能市文化協会に対し補助金を交付し、活動を支援した。

事業の主な内容及び成果

飯能市文化祭 参加者数・参観者数

事業名		参加者数	参観者数
		人	人
芸術・音楽部門	市民音楽祭		
	合唱祭	387	245
	民謡発表会	95	35
	吟詠大会	76	35
	三曲演奏会	50	200
	ミュージックサロン	10	160
	市民文化のつどい	191	400
	市民茶会	270	—
	将棋大会	134	10
	囲碁大会	58	1
小計		1,271	1,086

事業名		参加者数	参観者数	
		人	人	
展示・文芸部門	写真連盟展	81	538	
	華道連盟展	48	490	
	短歌大会	47	100	
	菊花展	26	346	
	文芸展	115	100	
	アマチュア無線公開実験	8	10	
	川柳大会	63	63	
	俳句大会	48	48	
	絵画連盟展	35	475	
	書道連盟展	60	421	
	小計		531	2,591
	合計		1,802	3,677

飯能市民美術展 参加者数・参観者数

事業名	参加者数	参観者数
	人	人
飯能市民美術展	198	629

事業の主な内容及び成果

【文化財保存事業】

○文化財保存事業…指定文化財の保存管理を図るため、以下の事業を行った。

〈指定文化財保存事業への補助金交付〉

以下の指定文化財保存事業に対し補助金を交付した。

- ・福德寺阿弥陀堂防災設備保守点検及び施設整備（国指定）
- ・常楽院収蔵庫保存管理（国指定）
- ・常楽院不動堂防災設備保守点検（県指定）
- ・長光寺本堂・惣門防災設備保守点検（県指定）
- ・下名栗の獅子舞後継者養成事業（県指定）
- ・北川の獅子舞用具修理（市指定）

〈指定文化財管理費補助金〉

指定文化財の所有者(管理者)に指定文化財管理費補助金を交付した。

〈文化財防火訓練〉

市内の4ヶ所の指定文化財建造物を対象に、年1回防火訓練を行っている。今回は大字虎秀の福德寺を会場に1月31日に埼玉西部消防組合、地元消防団・消防後援会、飯能警察署、福德寺並びに地元自治会の協力により実施した。

〈指定文化財管理〉

天然記念物の樹木について樹木医による診断を実施したほか、史跡等の除草やフェンスの修繕等を実施した。また、店蔵絹甚の消防設備保守点検を行った。

○郷土芸能保存事業

郷土芸能の保存・普及及び活用を図るため、9月6日に郷土芸能講習会「おはやしフェスティバル」を市民会館で開催した。入場者は719人であった。

○「文化遺産を活かした地域活性化事業」への支援

文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」に採択された事業(落合西光寺双盤念映像記録作成事業及び中山山車修理等事業)の支援等を行った。

【文化財調査事業】

○文化財指定調査事業

高麗郡建郡を明らかにする貴重な資料であることから「堂ノ根遺跡1号住居跡出土遺物」を市の有形文化財(考古資料)として新たに指定した。

○文化財普及事業…文化財保護について普及啓発を図るため、以下の事業を実施した。

〈夏休み子ども文化財教室〉

7月22日に小学4～6年生を対象とした「夏休み子ども歴史教室 発掘にチャレンジ！」を実施した。参加者は48人であった。

〈文化財講座・文化財めぐり〉

「高麗郡建郡と飯能」をテーマに文化財講座と文化財めぐりを一連の事業として開催した文化財講座は2月18日及び3月10日に開催した。文化財めぐりは3月15日に実施し、市内の高麗郡関連遺跡や高麗神社を見学した。参加者は両事業をとおして延べ124人であった。

事業の主な内容及び成果

〈情報紙の発行〉

平成27年度の文化財保護事業をまとめた「文化財時報」第144号を発行した。また、市内の双盤念仏について特集した「はんのうお宝スポット」第11号を発行した。

〈市内学校へ出張授業〉

発掘調査の成果及び文化財について、教育現場へ普及・活用することを目的に、学校での出張授業を行った。

学校名	学年	人数	回数	種類
		人	回	
飯能第一小学校	5	51	1	埋蔵
加治東小学校	6	40	1	埋蔵
自由の森学園高校	1～3	26	2	埋蔵

〈職員の講師派遣〉

文化財担当職員を各種の講座や研修の講師として派遣した。平成27年度は9回派遣し、190人の参加人数であった。

【遺跡発掘調査事業】

○市内遺跡発掘調査(補助)事業

埋蔵文化財の保護及び開発行為の円滑な調整を目的として、開発行為に伴う遺跡試掘調査及び個人専用住宅の建設に伴う発掘調査を実施した。また、当事業で実施した発掘調査の成果をまとめる室内調査や出土遺物の水洗・注記等を実施した。

調査名	調査箇所	面積
	地点	m ²
試掘調査	37	48,260.32
発掘調査	4	234
室内調査	7	

○市単独事業

埋蔵文化財の保護及び市主体事業の円滑な推進のため、遺跡の試掘調査を実施した。併せて各種の開発行為において、遺跡が盛土保存される場合の工事立会を実施した。また、出土した遺物等を報告書の刊行へ向けての室内整理作業として平成26年度に実施した別所平2次調査出土遺物の水洗・注記作業を実施した。

調査名	調査箇所	面積
	地点	m ²
試掘調査	2	567.26
発掘調査	0	0
工事立会	8	

事業の主な内容及び成果

○小規模開発発掘調査事業

各種事業者の開発を原因とする発掘調査を実施した。また、区画整理事業に伴い平成23年度に発掘調査を実施した加能里遺跡第42・43次調査の成果をまとめ、報告書『加能里遺跡第42次・43次調査』として刊行した。

原因者	調査箇所	面積
民間開発事業者	地点 7	m ² 3,429.43
公共事業関連(区画)	4	1,500
公共事業関連(市道)	3	3,208

○埋蔵文化財に関する普及事業

〈出土品の利活用〉

発掘調査の成果を地域住民に還元することを目的として、地区行政センターや民間施設で展示を行うため、遺物を長期間貸出している。また、小学校の調べ学習の受け入れ、研究者の資料調査への協力、県立博物館及び他市町村博物館の特別展等への資料貸出を行った。資料の貸出件数は5件(学校2件、博物館等3件)であった。

また、飯能市埋蔵文化財最新出土品展「掘り起こせ！古代からのメッセージ」を7月19日～8月30日で開催した。来場者数は延べ3,473人であった。

展示施設	施設数	期間
地区行政センター	1	通年
店蔵絹甚	1	通年
小・中学校	2	通年
民間施設(木楽里別邸)	1	通年

〈社会体験チャレンジ事業〉

中学1年生の社会体験チャレンジ事業への協力として、遺跡の発掘調査体験及び埋蔵文化財の出土品を整理する作業及び展示作業を体験する場を提供した。作業は発掘調査現場及び生涯学習課分室で行い、受入数は、4校9名であった。

なお、受入れた学校及び人数の内訳は以下のとおり。

- ・吾野中(7/1～3) 2人
- ・美杉台中(12/8～10) 2人
- ・南高麗中(12/8～10) 1人
- ・飯能第一中(1/20～22) 4人

〈発掘調査現地説明会及び説明看板の設置〉

別所平遺跡第3・5次調査において、調査現場を見学する現地説明会を6月25日に実施した。午前・午後の2回実施し、147人が参加した。

また、市内で実施している発掘調査現場に案内板を設置した。発掘調査の概要や遺物出土状況の写真、発見された遺構の写真などを掲示し、周辺の方々に調査の紹介を行った。

なお、看板を設置した発掘調査現場は以下のとおり。

- ・加能里遺跡(第64・65次調査)
- ・月畝遺跡(第1次調査)
- ・別所平遺跡(第3・5・6次調査)
- ・旭原遺跡(第18・19次調査)